

固定資産税の税率などを統一します

平成21年度は、3年に1度、土地や家屋の評価額を見直す固定資産の評価替え年度です。市は評価替えに合わせ、これまで自治区ごとに異なっていた税率などを統一します。市民の皆さんのご理解をお願いします。

旧市町村の評価方法の違いを統一

固定資産税は、土地や家屋など固定資産の「適正な時価」を課税標準額として課税されるものです。本来は毎年度評価替えによる見直しをすることが理想ですが、膨大な事務量となるため事実上不可能であることや、経費を最小に抑える必要もあることなどから、土地と家屋は原則として3年間評価額を据え置く制度がとられています。

平成21年度は3年に1度の評価替え年度に当たり、合併後、最初の評価替えになります。旧市町村で取り扱いが異なっていた固定資産の評価方法は、今回統一されることとなります。主な内容は次のとおりです。

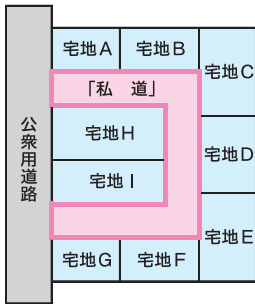
■宅地介在雑地の評価方法

宅地介在雑地とは、宅地に準じた状態の土地です。例えば、駐車場や資材置き場、造成中の土地などの評価は、宅地の価格に比準割合を乗じて価格が算定されます。

■私道の評価方法

私道の評価について合併前は「宅地」「宅地介在雑地」「雑地」「私道」(以上は課税対象)で、

私道と評価される一例



住宅の耐震改修工事が対象

固定資産税の減額措置

現行の耐震基準を満たしていない住宅について、平成18年1月1日から27年12月31日までの間に一定の耐震改修工事を行うと、固定資産税が減額されます。

■減額対象となる要件

- ①昭和57年1月1日以前に建築された住宅（居住部分が2分の1以上）であること
- ②改修工事に要する費用の額が30万円以上であること
- ③現行の耐震基準に適合させるための改修であること

■減額される期間・税額 耐震改修工事の施工時期に応じて、翌年度分から下記の期間の固定資産税が減額されます。減額される税額は、1戸当たり120平方メートル相当分までの税額の2分の1です。

- ①18年～21年の改修工事 3年間
- ②22年～24年の改修工事 2年間
- ③25年～27年の改修工事 1年間

■申請方法 改修工事完了後3カ月以内に減額申告書（担当課備え付け）などの書類を市へ提出してください。3カ月を過ぎても申請できる場合がありますので、速やかに担当課へお問い合わせください。



■注意事項 奥州市木造住宅耐震改修工事助成制度の利用を考えている人は、改修工事前の申請が必要です。事前に各総合支所地域整備課へご相談ください。

■問い合わせ・申請先 本庁資産税課家屋係(内線355～357)

合(図参照)などです。このほかにさまざまな場合があります。

合併時の協議により税率は1・5%

合併協議会での調整結果に基づき、合併から本年度までの3年間は水沢区・江刺区・衣川区が1・5%、前沢区・胆沢区が1・4%という不均一課税としてきました。21年度からはすべての自治区が1・5%になります。

■問い合わせ 本庁資産税課土地係(内線352～354)

学校施設耐震診断結果を公表

順次改築や補強を実施

市教育委員会は、学校施設の地震災害対策として、新耐震基準以前(昭和56年以前)に建築された校舎・屋内運動場を対象に、第2次耐震診断を実施しました。

その結果、文部科学省が「耐震補強が必要」と定めた基準値・構造耐震指標I s値が「0・7未満」となった施設は表1のとおりとなりました。「0・7以上」の建物については、耐震上問題がないものとされています。この結果を受けて市教育委員会は、文部科学省が最優先の改

市立学校施設の耐震診断の結果がまとまりました。耐震診断は、現在の耐震基準となる昭和56年以前に建てられた校舎や屋内運動場が対象。早期改修が必要な建物については、平成24年度までに計画的に建て替え、耐震補強を行う予定です。

【問い合わせ】市教育委員会事務局教育総務課 学校建設推進室(江刺総合支所内線415)

修を指導しているI s値「0・3未満」の施設に加え、早期改修が必要とされる「0・4未満」の施設についても、新市建設計画に基づき平成24年度までに順次改築(建て替え)か耐震補強工事を行い、学校施設の耐震化を進めていきます。

老朽施設は耐力度調査

老朽化が進んでいる施設は、耐震診断とは別に「耐力度調査」を実施しました。その結果は表2のとおりです。耐力度が危険改築基準値以下の施設については、新市建設計画に基づいて改築していく予定です。

【表1】耐震診断で基準値を下回った学校

判定区分 (I s 値)	幼稚園	小学校		中学校	
		校舎	屋内運動場	校舎	屋内運動場
Q. 3未満 大規模な地震により倒壊などの危険性が高い	岩谷堂	真城	水沢南		水沢(第1) 小山
		胆沢第一	羽田 常盤 佐倉河 衣里		水沢南
Q. 4以上Q. 7未満 大規模な地震により倒壊などの危険性が低い	佐倉河 羽田 上姉体 南都田	水沢南 佐倉河 玉里 白鳥 白山 胆沢愛宕	水沢 真城 大田代 伊手 白山 前沢 古城 上野原 胆沢第一 胆沢愛宕	水沢 小山 若柳 南都田	水沢(第2) 江刺東 江刺南 江刺第一



19年度に耐震補強済みの水沢小学校舎

【表2】耐力度調査の実施結果 (老朽施設のみ対象)

危険改築基準値以下の学校 前沢南幼、岩谷堂小(校舎)、田原小(校舎)、衣川中(校舎、屋内運動場)

※前沢南幼稚園は、調査判定値が基準値と同じ値のため、今後耐震補強の手法も含めて検討していきます。